

患者 63才

既往歴 DM、CRF on HD due to DM

現病歴 effort angina (CCS class), post CABG (LITA-LAD)

検査所見 TnT (+)

CAG

LITA-LAD: patent

LCX: #11 CTO

RCA: diffuse stenosis with calcification

手技

t-PM 下に 1.5 のロータでアブレーション後、バーを抜いた。マイクロカテを入れて、re-cross しようと試みたが、マイクロカテが入らなかったため、ロータワイヤーを引き抜こうとしたところ、ワイヤーが断裂し、先端が右冠動脈内に残った。

対策

ワイヤーを2本入れ、twistさせガイディングの中に絡めて回収する。

近位部を拡張し、スネアーで回収する。

スネアー等で回収できない場合は、抗血小板療法を強化し経過観察とする。

心臓血管外科に相談する。

予防

症例がハイリスク群であることを認識しておく。

ワイヤーをプラプラさせず、安定する奥まで入れておく。

jail した際にはこねくり回さず、システムごと抜去する。

ステントで jail されない為には、低圧でステント留置後に側枝アプローチする。

ステントで jail した場合には、マイクロカテ OTW で少しずつ広げる。